

| | | | |
|-----|---|-----------------|---|
| 所在地 | 東京都千代田区内幸町2-2-3 | location | Tokyo |
| 建築主 | 三菱地所株式会社 | owner | Mitsubishi Estate Co., Ltd. |
| 設計者 | 三菱地所株式会社 | architects | Mitsubishi Estate Co., Ltd. |
| 施工者 | 大成建設株式会社 株式会社 竹中工務店 清水建設株式会社 株式会社 大林組 株式会社 間組 鹿島建設株式会社 | contractor | Taisei Corporation Takenaka Komuten Co., Ltd. Shimizu Construction Co., Ltd. Ohbayashi-Gumi, Ltd. Hazama-Gumi, Ltd. Kajima Corporation |
| 竣工 | 1981年10月31日 | completion date | October 31, 1981 |

概要

建築概要

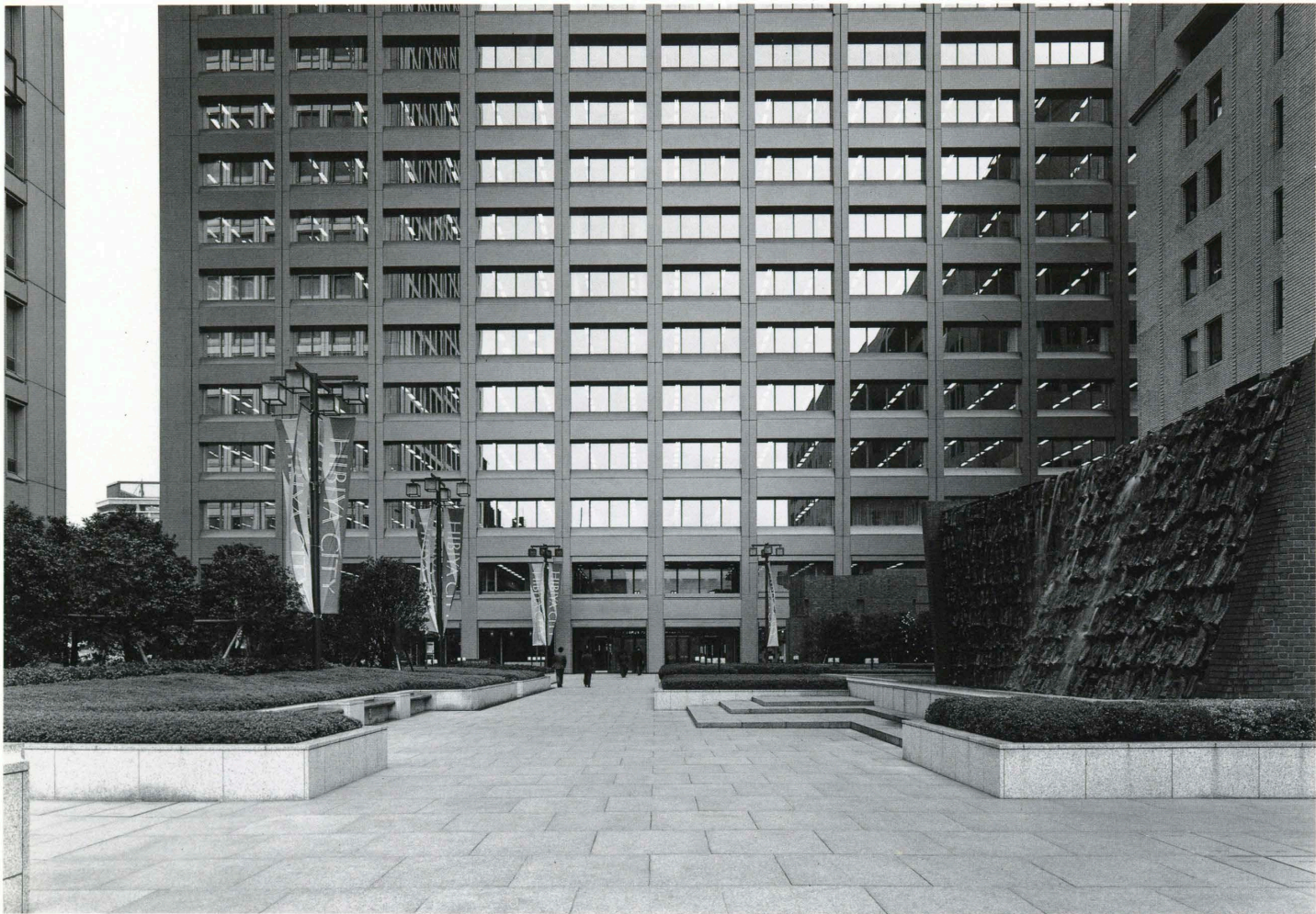
| | |
|------|---|
| 敷地面積 | 10,396.48㎡ (特定街区面積 20,775.3㎡) |
| 建築面積 | 3,123.68㎡ |
| 延床面積 | 128,402.52㎡ |
| 構造規模 | 鉄筋コンクリート造(地下5階~地下4階) ・鉄骨鉄筋コンクリート造(地下3階~ 地下1階)・鉄骨造(1階~塔屋) 地下5階・地上31階・塔屋1階 |

仕上概要

外装 外壁：アルミパネル電解二次着色(高層部)・
スペイン産花崗石バーナー仕上げ(低層部) / サ
ンクンガーデン：磁器タイル・ブラジル産花崗石
バーナー仕上げ / 1階アッププラザ：ポルト
ガル産花崗石バーナー仕上げ / 建具：スチール
型鋼塗装・熱線反射ガラス
内装 エントランスホール 床：イタリア産人
造大理石 壁：フィリッピン産大理石本磨き

スクリーンスチール型鋼塗装・透明ガラス 天井：
スチールパネル塗装・アルキヤストルーバー光天
井 / 地下1階店舗街 床：テラゾータイル・一部
人造大理石 壁：磁器タイル・一部大理石 スクリ
ーン：スチール型鋼塗装・透明ガラス 天井：岩
綿吸音板(リップ付き) / 地下2階店舗街 床：テラ
ゾータイル・一部人造大理石 壁：磁器タイル・
一部大理石 柱型：特殊ミラー・スチールパネル塗
装 天井：岩綿吸音板(リップ付き) / 基準階事務室
床：ビニースタイル 壁：プラスターボードVEP
天井：岩綿吸音板(システム天井)
空調 冷温熱源：丸の内熱供給(株)内幸町センタ
ーより受給(冷水8.35Gcal/H・蒸気5.50Gcal/H) /
基準階：外周部ファンコイルユニット方式・南面
4管式他3面制御・内部各階ユニット方式
衛生 上水・中水：丸の内熱供給(株)内幸町センタ
ーより受給 / 給湯 / 都市ガス / 汚水 / 雑排水
スケートリンク設備：600㎡ 60RT
電気(ビル用) 受電設備：66kVループ受電・ガス

絶縁受電設備・主変圧器6,000kVA×1台・蓄電池
2,000AH×1台・1,600AH×2台幹線設備：3相
6kV・415V・210V・CVケーブル・単相210V-150V
CVケーブル / 照明設備：単相210V-150V・事務
所システムライン照明500ℓ× / 動力設備：3相
415V / 各種弱電設備：共同聴視設備・時計・管理用
インターフォン・CCTV設備・駐車場管制設備など
 / 防災設備：自動火災報知設備・誘導灯設備・非
常電話設備・非常電話設備・非常放送設備など / 総
合監視設備：コンピュータコントロールシステム
(デュアル)・監視制御対象点数6,000点
電気(地域冷暖房施設用) 受電設備：22kVスボ
ットネットワーク受電・主変圧器3,500kVA×3台
(他設備は上記ビル用設備に準ずる)
消火 スプリンクラー・泡消火・屋内消火栓・連結
送水管・ハロンガス・粉末消火設備
排煙 機械排煙3階以上・2階以下分割地上階付
室自然排煙



正面玄関 / Main entrance



サンクンガーデン / Sunken garden

右：東側外観 / right: East elevation





エントランスホール/Entrance hall



地下2階商店街/Shopping arcade of the 2nd basement floor

選評 REVIEW

小堀 鐸二 Takuji Kobori
佐野 正一 Shoichi Sano
田村 真二 Shinji Tamura

この敷地一帯は、古くから政治の中心である霞が関と、経済の中心である丸の内双方に接し、また、その周辺には、日比谷公園、図書館、公会堂、野外音楽堂などがあって、都民の憩いの場としても長い間、親しまれてきている。

日比谷国際ビルは、その一角、旧日本放送会館の跡地に計画されたが、ほぼ時を同じうして隣接する日本プレスセンタービル、富国生命ビルや、三井物産ビルにも同様の改築の計画が進められていたため、これら四者が協力する再開発協議会が結成され、1975年8月には、この地域一帯が特定街区として都市計画決定されるに至ったものである。このビルに先立って完成をみている日本プレスセンタービルと富国生命ビルは、それぞれが持つ秀抜な特質に対して、すでにBCS賞を受賞している。

日比谷国際ビルは、地下5階・地上31階・軒高127.15mの高層ビルであり、その外観は簡潔で地味ではあるが、品位の高い表情

Located adjacent to Kasumigaseki, the Tokyo governmental center, and Marunouchi, the heart of the city's business operations, the site is part of a district long familiar and popular with the people as a relaxation zone too since in its vicinity are Hibiya Park, libraries, concert halls, and an outdoor music pavilion. The Hibiya Kokusai Building was originally planned independently to stand on the site of the old broadcasting center of the Japan Broadcasting Corporation. But it turned out that several other large buildings, including the Japan Press Center, the Fukoku Life Insurance Building, and the Mitsui Bussan Building were scheduled to go up in the same neighborhood at about the same time; and it was decided to work cooperatively and to redevelop the whole area as a specially designated urban region. The distinctive good points of the Press Center and the Fukoku Life Insurance Building, which were completed before the Hibiya

をたたえている。この建物の基準階は、6.2mモジュールによる中廊下式の効率的なオフィス空間によって占められているが、このビルの全体計画の特色は、むしろ都市再開発事業の目的に沿う外部空間への配慮であって、地域社会への結びつきを図るために、市民広場ともいべき公開空地を、サンクガーデンの形で創造し、ほぼ成功を収めていることである。それは隣接する日比谷公園の延長として機能すべく、広い空間と緑の導入が図られ、四季折々には、華やかなイベントが繰り広げられるほか、冬季にはアイススケートリンクとして活用されている。

また、このビルの完成により、日本プレスセンタービルと富国生命ビルは、このビルを通じて地下階で一体となり、新しい地下街が生まれた。この地下街と、前記サンクガーデンを併せて「日比谷シティ」と称され、日比谷の一角に新たな賑わいの名所を提供しつつある。

Kokusai Building, have already been recognized in the form of BCS prizes.

But more than the interior, the exterior and the way contributions are made to district redevelopment and contacts are established with the region as a whole distinguish the building. The spacious sunken garden, which might be called a civic plaza, is planted in such a way as to become an extension of nearby Hibiya Park. Various events take place there throughout the year, and in the winter part of the garden is converted into an ice-skating rink.

A new kind of underground city results from joining the basement of this building with those of the Japan Press Center and the Fukoku Life Insurance Co. Building. Dubbed Hibiya City, the underground zone plus the sunken garden of the Hibiya Kokusai Building offer the citizens a new place for various kinds of activity.

But the underground construction that has made this sophisticated urban center possible was extremely difficult

こうした賑わいの蔭には、血のにじむような地下部分の難工事がなされている。軟弱地盤のなかに、深く多量に混在する既存建物の地下工作物の解体撤去を行ないながら、高層ビルの地下階を短い工期のなかに同時施工するには、数々の高度な技術が駆使され、成果がもたらされた。

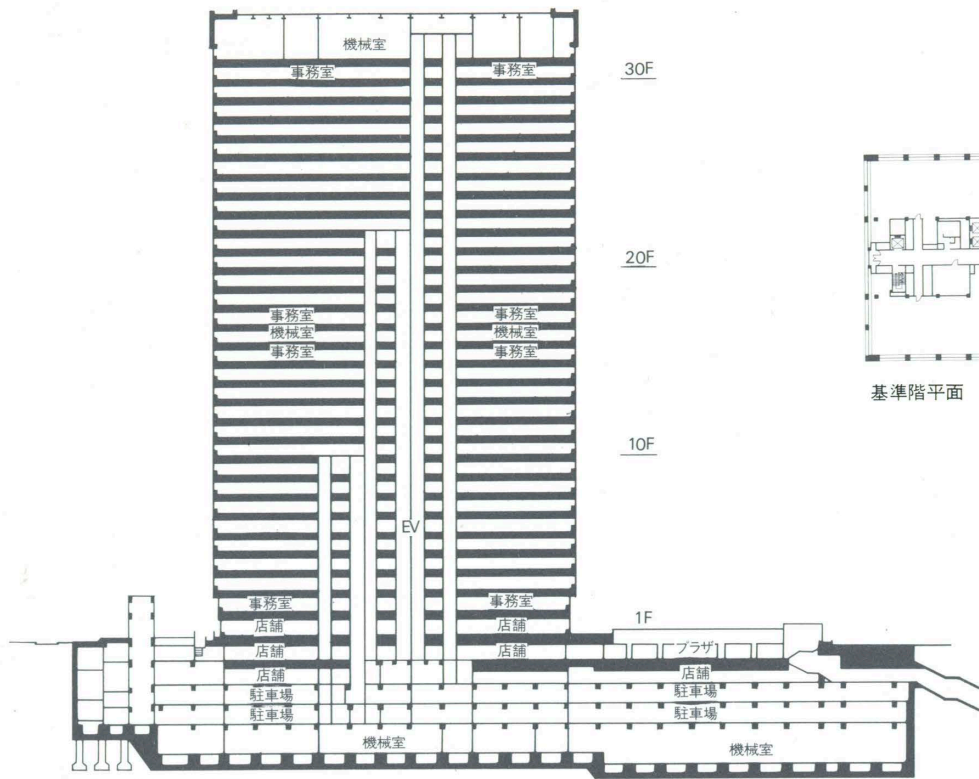
また、この建物には、大気汚染防止のため、地域冷暖房プラントから冷暖房の供給を受けるとともに、水資源対策のための大規模中水道施設が設けられるなど、行き届いた配慮がなされている。

これらの目に触れない施工と環境設備に関する技術的な克服、その上に優れた構造技術が加わり、一見さもない形態を装いながら、このビルは静謐に建っている。このことは、この建物に熱意を傾けた建築主、設計者、そして施工者の三位一体となったゆまざる努力のあらわれとして、称えられねばならないであろう。

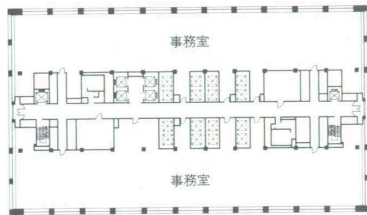
because the ground base is weak, soft, and oozy. It was only owing to the high level of technical skill of the construction firms that it was possible to remove all the basement structures of the buildings that had formerly stood on the sites and then to construct simultaneously the underground parts of all these new towers within a short construction period.

In addition, great care has been taken in connection with conservation and the minimization of atmospheric pollution. Heating and cooling are carried out on an all-region basis, and the building is fully equipped to recycle water.

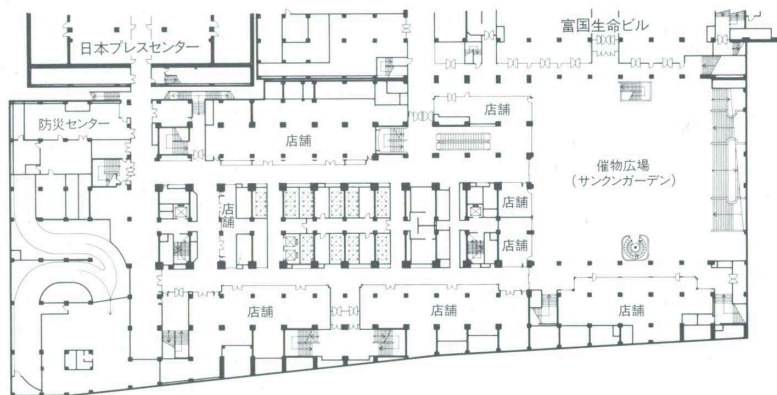
In short, the superficial simplicity of the building's exterior conceals the highest level of skills in connection with equipment and environmental control plus outstanding structural techniques. Its success is due to the enthusiasm and tireless efforts of client, architects, and contractors.



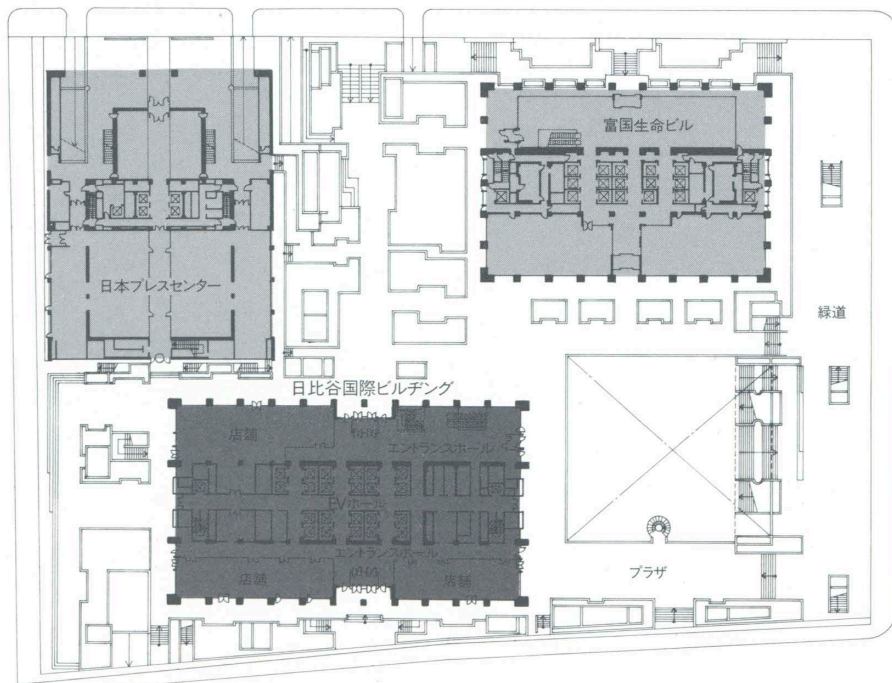
断面 縮尺1/1,500



基準階平面



地階平面



配置・1階平面 縮尺1/1,500